






※記載例を参照の上、ご記入ください。

（様式第3号）

企業・団体名（ 株式会社ジン・コーポレーション ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R8.1.16変更】

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 （必須）			不特定多数のお客様が訪れる場所を管理運営する企業として、多様性社会であることを社員と共に認識し、誰もが楽しめる環境づくりを目指している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 （必須）			ハラスメントは絶対に許さない旨の周知徹底通知を出すと共に、相談窓口を設け、対応している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 （必須）			基本的に残業が発生しない労務管理を実施し、稀に長時間労働があった場合は即時指導に当たり繰り返さない仕組み作りと管理体制を構築している								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 （必須）			風的法上外国人労働者の雇用に規定があるため、規則に沿って環境整備を整えている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			無理な労務環境にならないように勤務シフトをチェックし、勤務時間インターバル含め、問題なく管理し必要に応じて是正している			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 （必須）			何かあったときに相談しやすい環境を作るため、各店舗に出向きコミュニケーションを図ると共に、相談窓口を設け手の対応している			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 （必須）			嘱託再雇用、障がい者雇用共に推進し、70歳以上の方でも働ける方は延長再雇用している。女性管理職を増やす取り組みとして、研修を実施した					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 （必須）			職位別研修を定期的に実施していると共に人事制度の中に上司との目標設定、フィードバックを行うことで人材教育・人材育成に繋げている				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 （必須）			社内に社会保険労務士がおり、適切な労務管理を推進すると共に、パートアルバイト雇用の方でも社員等々の勤務体系が可能な方は社員登用を推進している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			健康診断は毎年法定検診以上の検査（内視鏡検査、腫瘍マーカー等）会社負担で実施し、インフルエンザワクチン接種も毎年会社負担で行っている			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 （必須）			・市の条例に基づいた廃棄物の仕分け、処分と結果の定期報告を行っている											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 （必須）			・エネルギー使用量の可視化と県の条例に従った温室効果ガスへの換算を行っている							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 （必須）			・長野県事業活動温暖化対策計画に削減計画書の提出と毎年度報告を行っている							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 （必須）			・PCBが入っているコンデンサーを調査、該当する物をJESCOを通じて適切に処分した。 ・蛍光灯などを市の条例に沿った処分を行う事業者 に委託、処分 manifests の管理を行っている			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目 番号	カテ ゴリ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
15	環 境	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・ 自然環境に対する駐車場の外灯による夜間の光害対策を行っている ・ グリストラップの定期洗浄、指定業者を通した廃油処分を行っている						6.6								15				
16		【３Rの推進】 ・ リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			リユース: 不要になった設備、消耗品を社内拘束板等で再利用できる店舗に呼びかけている リデュース: 顧客へ呼びかけ不要な景品を集め施設へ寄贈している。リサイクル: 新規導入した遊技台を使用後他の店舗へ移動させている。リサイクル業者の「紙資源回収										13		14.1						
17		【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			店舗毎に毎月使用明細を確認し、前月より多い場合または異常値が出た場合に本社へ報告し検証する						6.4 6.6												
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			予定: エコアクション21取得予定				3.9			6	7				12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			長野県ゼロカーボン施策にて県WEBサイトにて公開している												12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・ 自家消費型太陽光発電(49.5kw)設置・運用								7.2					13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			海洋資源フードロスゼロ食品の提供を持続している												12.2	13	14	15			
22	公 正 な 事 業 慣 行	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			企業コンプライアンスを周知徹底すると共に、信用がないと成立しない商売であることを理解して周知徹底している																16 16.5		
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			適正価格を社内で共有し、常に検証し法令順守のもと商品管理している																16		
24		【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			業務上知り得た会社の機密事項、ノウハウ等の知的所有権は在職中及び退職後も一切洩らさない旨の誓約書を取り、社員と相互理解の上取り組んでいる									8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			プライバシーポリシーをホームページに掲げ、社内マニュアルにも個人情報の取り扱いについて記載し、新入社員指導時から個人情報管理の重要性を指導、周知徹底させている																16		
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			現状では取り扱う業種に携わっていない																16		
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			業界の組合（パチンコ・パチスロ産業21世紀会等）を通じて、情報交換を行っており、組合を通じて各種問題に取り組んでいる						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】（R5. 9. 5～追加） ・ 中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)			パートナーシップ構築宣言を作成し、現在申請している				3					8	9	10							17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 (必須)			自動車整備の安全性、食品管理の安全性の確保を理念に掲げ、マニュアルを整備し、理念に沿った安全管理、衛生管理を徹底している			3.9								12.4						
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 (必須)			飲食部門の理念「おいしく・安く・安全にお客様が楽しい時間を過ごせる空間の提供」 カーソリューション事業の理念「安心・安全・快適に車輛販売から車検・板金修理を通じ、地域社会に貢献」 理念に沿って商品・サービスの提供を行っている									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			組合による指定業者を通じて、廃棄を行っている						6					12	13	14	15			
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			依存症問題の対策ガイドライン、安心パチンコ・パチスロアドバイザーの取得、車内放置防止に向けた取り組み(駐車場チェックなど)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 (必須)			環境への配慮: 夜間照明や騒音などないように配慮をしている、地域行事に協賛をしている				4				9		11	12		14	15		17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			毎年定期的に児童養護施設にお菓子をお届けしていると共に、文房具の寄付、地域行事への寄付など行っている				4					11				14	15		17	
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			県内、地元企業景品を定期的に取り扱っている								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本 (必須)			企業理念、経営スローガン、店舗スローガンを毎年全社員が共有する社員大会を実施し、リーフレットを作成し共有している								8	9							17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 (必須)			新入社員指導時からマニュアルに記載し法令順守の重要性を理解共有すると共に、定期的に管理者研修に参加し、管理者から認識の再確認を徹底している															16		
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 (必須)			企業のサステイナビリティ推進に関する専門会議を開き、時流に合わせた企業姿勢、企業取り組みを目指している															16		
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 (必須)			ステークホルダーのニーズに耳を傾け、適切な利害関係を保つ取り組みをしている															16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			災害対策物資の備蓄(保存水、携帯トイレ、あるブランケットなど)を店舗にて保管し、有事に備えている															16		
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			企業のサステイナビリティ推進に関する専門会議を開き、時流に合わせた企業姿勢、企業取り組みを目指している															16		
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・定期的に消防訓練、防犯訓練を定期的に行っている ・国の定める「事業継続力強化計画」に沿ったBCPプランを策定。国へ申請中である									9		11		13 13.1		16		
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)											8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定